

「f・wave」とは、

fは、female-女性、  
friend-友、  
freedom-自由、  
future-未来、そして  
f-強く、を意味し、

waveは、波を表します。  
f・WAVEは、社会環境の変化の  
波を誌面を通して伝え、女性が生  
き生きと暮らせる未来をめざす  
コミュニケーション誌です。

# f・wave



特集1

育つ力 私が子どもの頃…

特集2

映画から探る女性問題 ザ・コンテンダー

# 我が子どもの頃…

## 育つ力

近年、生活を  
取り巻く社会環境の変  
化の中で、核家族化・少子化  
が進んでいます。一人の女性が一  
生の間に産む平均的な子どもの数を示す  
合計特殊出生率は、99年には全国で1.34、東  
京都で1.04、あきる野市においても1.32となっ  
ています。また、子育て中の母親からは「昔と違っ  
て、今は子どもを育てるのは大変」という声も  
あります。そこで、地域に暮らす20代から  
80代までの方々に、子どもの頃のことを  
聞いてみました。

### 誉められ怒られ育つ

子どもの頃、親父に誉められる  
のが嬉しくて、よく家の手伝いを  
したもんだよ。農繁期なんかは、  
学校行っても「暇下さい」と家へ  
帰って畑仕事をやってたんだ。

今の子どもたちと違って、縦年  
齢の集団で遊んでいたな。木登り  
や川遊び、駒回しなど自然の中で  
遊んでたから、学ぶこと多かった  
ね。

平井川が増水すると、わざと遊  
びに行つて、よく親父に怒られた  
な。親父も学校の先生もおまわり  
さんもとにかく恐かったよ（笑）。  
村にラジオが一、二台の昭和8  
年頃で、今みたいに物はなかった



けどいい時代だった。

(88歳男性 草花在住)

### 母の背を見て育つ

私が3歳の時に父は戦死。当時  
母は看護婦で、日夜忙しく働いて  
ました。だから、子どもの頃は、  
母方の祖父母が面倒見てくれまし  
た。それに近所のおばさんの所に、  
毎日のように遊びに行つていて、  
まるで自分の子のように可愛がっ  
てもらったこと、何十年も経った  
今でも忘れられないですね。

母の影響もあったと思うんです  
けど、私もいつか人の役に立つよ  
うな大人になりたいと思つて育ち  
ました。今、母と同じ看護婦の道、  
歩いています。

(59歳女性 五日市在住)

### 兄弟げんか育つ

末っ子だったから、好きなこと  
やってたな。子どもの頃、兄弟  
げんかは日常茶飯事。でも、一番  
上の兄貴の言うことだけは絶対だ  
ったかな（笑）。

親父は大工で、仕事以外のこと

は興味なしって感じだった。たま  
に家族で出かけても「あの家は、  
いい瓦を使っている」とか、そん  
なことばっかり言ってたな。おふく  
るも5人の子育てと、ばあちゃん  
の世話しながら、パートで働いて  
いた。文句も言わずに。

今思うと、おふくろがおおらか  
な性格だったから、夫婦バランス  
とれてたんだろうな。

(32歳男性 二宮在住)

### ふるさとの祭り育つ

神奈川県の間部で生まれ育つ  
て、子どもの頃は竹馬や笹舟を作  
つて競争したり、鬼ごっこ、陣取  
りなんかで、自然の中で思いつき  
り遊んでいたな。

親父は教員で気難しかったけ  
ど、地域のお祭りには必ず私を連  
れてつて、準備から片付けまで一  
緒にやっていた。それに、学校から  
帰ると、近所の人誰かしら家に  
来ていて、いつもにぎやかだった  
なあ。

今、その頃の親父と同じ年にな  
ってしまっただけ、これから秋祭

りの準備なんですよ。  
(59歳男性 伊奈在住)

### 姉のようになつて育つ

親からうるさく言われたことはあんまりなかった。でも、高校の時にルーズソックスでちよつと言われたかな。それにポケベルもPHSも絶対に買ってくれなかった。うちのお母さんは、21で私を生んでるの。11歳下の妹が生まれるまでは、お母さんっていうよりお姉さんって感じだったかな。小学校の授業参観の時、お母さんが若くて嬉しかったかなあ…。

お父さんは、仕事が忙しかったから、平日はほとんど顔合わせたことなかった。だからってわけじゃないけど、お父さんの方が甘いかなあ。今、家じゃTVのチャンネル権も完全に私ら女3人、お父さんも大変だよな(笑)。  
(21歳女性 小川在住)

### 兄弟宗事分けて育つ

日本海の漁師町で生まれ育つ

た。両親ともに働いてたから、庭掃除や雨戸の開け閉め、買い物と兄弟で家の事を役割分担してたね。遊ぶのには恵まれた地域だったから、海水浴や魚釣り、近くの山でアケビ取りや木登り、野イチゴや山菜取りを手伝ったりと、自然の中で思いつきり遊んでいたよ。悪さをして、よくケガもしたよ。だから、子どもの頃は、親父や周りの大人たちから、年中怒られてたな(笑)。  
(63歳男性 伊奈在住)

### 厳しい時代に育つ

長野で生まれ育って、あきる野市に暮らして、38年経ったかしら。小さい頃、親には何でも好きな物を買ってもらえて、大事に育てられた箱入り娘でしたな(笑)。  
でも、質実剛健の厳しい時代、尋常小学校では、雪の日以外は裸足、軍需用品を作るため、松の木

の根を掘って油にしたり、桑の葉は蚕の餌用で、枝葉は繊維にして軍服を作りと。それに学校の行き帰りは、磁石を引張って鉄集めまでさせられたんだから。平和な今

では、考えられないような時代に育つたのよ。  
(70歳女性 測上在住)

### 友と共に育つ

子どもの頃、8人家族だったね。兄貴とは20も年が違っていたし、姉や妹とは遊ばなかった。  
15の頃、両親を亡くした親友がいて、自分の家だと思えて言ってるまで、我が家で一緒に暮らした。親父は飲むことが好きで、母親は子育てに追われていたけど、2人とも優しかった。

今も、命日になると、自分の親のように熊本から墓参りにやってくる。真っ白な髪の毛を、70を過ぎた妹はいまだに「兄ちゃん」と呼んでるよ。  
(76歳男性 雨間在住)

### 野球好きに育つ

赴任先のアメリカでは家族一緒に、親父が野球好きなもんで、休みの時には全米中の大リーグの試

合に連れて行かれた。それに、帰国するまでの3年間のリトルリーグ生活、俺の野球人生の始まりかな。小学校4年の時に日本帰ってきた。それから小・中・高・大学・社会人とずっと野球を続けてきた。この10月に子どもが生まれるんだけど、男の子でも女の子でも、やっぱり大好きな野球教えると思うよ。  
(28歳男性 留原在住)

### 打たれ強く育つ

親が自営業だったので、幼い頃からよく手伝いをさせられましたね。家事も半ば無理やりさせられていたような気がします。父は厳しい人で、私はよく怒られて泣いてましたね。両親とも働いているとはいえ、自営なのでいつも家にいたから寂しくはなかったけど、うっとうしかったりもして、外で遊ぶことが多かった。おかげで打たれ強くなったかな(笑)。  
2児の母になった今、せっせと子どもたちに家事の手伝いをさせています。

(32歳女性 野辺在住)

Contender  
アメリカ/2000年



院議員のレインを指名する。しかし、副  
を受けなければならない。ある男性知事  
対。調査員を雇い、手にしたレインの大  
い詰めていく。それに対し、ノーコメン  
た時、大統領は迷うことなく、レインを

「男なら大学時代、何人の女と寝よう」と何の問題でもならない。女だつて同じで  
真。

## ◆性モラルへの追及

レインを攻めるために、ラニオンが入手した大学時代の乱交パーティの写  
真。

◆性モラルへの追及  
レインを攻めるために、ラニオンが入手した大学時代の乱交パーティの写  
真。

◆性モラルへの追及  
レインを攻めるために、ラニオンが入手した大学時代の乱交パーティの写  
真。

## ◆女性の人權

「娘たちの生きる時代が男女平等であるように」

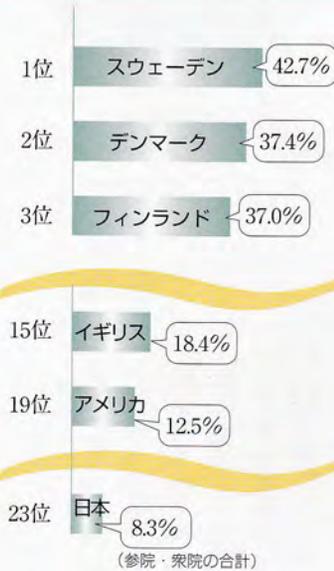
司法委員長ラニオンは、公聴会で女性上院議員レインに対し  
「もしも要職について妊娠したらどうするんだ」  
と質問する。産む性であることを理由に、女性の地位向上を阻もうとする、性  
差別であり人權侵害である。

しかし、映画の中だけでなく現実にも、ラニオンのように女性に対する差別  
意識を持った男性は、まだまだ多いかもしれない。

## 人權の尊重と男女平等のための国内外の主な取り組み

- 1948 「世界人權宣言」 国連総会で採択  
男女の平等を実現するための条項が盛り込まれる。
- 1967 「女性に対する差別撤廃宣言」 国連総会で採択
- 1975 国際婦人年世界会議（メキシコ）  
世界行動計画の策定
- 1976 ~1985 国際婦人の十年 性差別撤廃に世界的規模の行動で取り組む。
- 1979 「女子差別撤廃条約」 国連総会で採択
- 1980 国連婦人の十年中間年世界会議（コペンハーゲン）  
女子差別撤廃条約署名式（日本も署名）
- 1981 「男女労働者特に家族的責任を有する労働者の機会均等及び  
均等待遇に関する条約及び同勧告」 ILO（国際労働機関）総  
会で採択（日本は1995年に批准）
- 1985 「女子差別撤廃条約」 日本批准  
国籍法（84）、男女雇用機会均等法の制定（85）、家庭科の男女共修  
決定（86）など、国内法の整備が進む。  
「国際婦人の十年最終世界会議」（ナイロビ）  
制度上の平等から事実上の平等へ、女性からジェンダーへ、ナイロビ  
将来戦略を採択。
- 1992 世界環境開発会議（リオ、世界サミット）  
ジェンダーの視点から人口政策、貧困、戦争による環境破壊等の問題  
が討議される。
- 1993 世界人權会議（ウィーン会議）  
リプロダクティブ・ライツや女性に対する暴力の撤廃、人權を侵害さ  
れやすい女性の問題が、国際的な最重要課題として取り上げられ、「女  
性の権利は人權である」ことが確認される。
- 1994 国際人口・開発会議（カイロ会議）  
女性の人權と人口抑制の関わりに焦点が置かれる。
- 1995 第4回世界女性会議（北京会議）  
男女平等を進める指針となる「北京宣言」と女性の地位向上のため取  
るべき行動戦略を明記した「行動綱領」を採択。  
介護休業を導入した一部改正育児、介護休業法が成立（日本）
- 1996 国内行動計画「男女共同参画2000プラン」策定（日本）
- 1997 改正男女雇用機会均等法が制定（日本）
- 1999 第43回国連女性の地位委員会（CSW）1946年より開催  
アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）ハイレベル政府間  
会議  
男女共同参画社会基本法が制定（日本）
- 2000 国連特別総会「女性2000年会議」（ニューヨーク）  
北京宣言と行動綱領の実施状況を検証し、21世紀に向けあらたにこ  
るべき行動指針としての成果文書の採択。  
第44回国連女性の地位委員会（CSW）  
「男女共同参画基本計画」の策定（日本）

先進24カ国の女性国会議員率



(国連特別総会「女性2000年会議」より)

女性の社会的地位の向上を目指す国際的な流れの中で、政策決定の場への女性の参画も躍進しています。

そんな中、アメリカ政界を舞台に、性による差別と女性の人権を問題提起した話題の映画「ザ・コンテンダー」(競争者)が、この夏、日本で公開されました。サブ・タイトル「女が副大統領になる。それが、罪ですか？」

これは観なくては！ さっそくf.wave映画鑑賞ツアーを企画。5名の編集委員で、記録的な猛暑の中、行ってきました。印象に残るシーン、セリフをまとめてみました。

あらすじ

副大統領の突然の死。その後任として、大統領は女性の大統領になるには、下院の司法委員会が開く公聴会の承認を推している司法委員長ラニオンは、レインの抜擢に猛反学時代のセックス・スキャンダルを攻撃材料に、彼女を追トを貫くレイン。果たして…?

男たちの陰謀や策略を知り、全ての真相が明らかになった副大統領に指名したのだった。

は」(レインのセリフ)

「男なら見逃されるのに」(大統領補佐官のセリフ)

どうして男が 大目に見られることが、女ということだけで責められるのだろう。しかも、こうした事を公式の場で暴き立てることは、暴力に等しいのでは。かつて「嫁入り前なんだから……」こんな言葉も聞いたことがあるが、同じような気がする。

◆戦う女たち

夫のラニオンが、破廉恥な写真を使いレインを攻撃することに失望した妻は、「これは、全女性に対する観念的なレイプなのよ」と怒りをあらわにする。さらに、夫のライオンも知らない自分自身の妊娠中絶の過去をレインに告白。その事実を攻撃材料にするように話す。夫を裏切ってまでも、妻としてではなく女性の立場を貫いた一言である。

一方、卑劣な攻撃にノーコメントを貫くレインに、大統領は「反撃しろ」と迫る。

「それは、人から指示されるものではありません。私の問題です」

ときっぱり答えるレイン。個人のセクシャリティーに立ち入ることを絶対に許さないとするレインの意思の強さが伝わってくる。そして、ただ淡々と民主主義の理念を訴えかける彼女の声が、公聴会に響き渡るシーンは感動的。これからの女性は、この二人のように、周りに振り回されることなく行動できる強さがほしい。

◆夢をもって

映画は、レインを副大統領に指名する大統領のスピーチで締めくくられる。「政治のトップに女性が登場する時が来たのだ。私たちは、女性から偉大さを学んだ。男も女も等しくアメリカの夢を追いかける権利がある」とアメリカの未来のためにあらゆる性差別を退けようと訴える。

勇気ある有能な女性は、世界にたくさんいるはず。今後、こうした女性が政界にどんどん進出することを期待したい。

最後に、「この映画を娘たちに捧げる」と字幕が流れる。ロッド・ルーリー監督の「娘たちの生きる時代が男女平等であるように」とのメッセージである。



吉村藏雄さん

## 生

生まれも育ちも野辺という吉村藏雄さんは、今年で99歳。

長寿の秘訣について「そうだね、出された物は全て美味しいと感謝して食べた。今でも、好き嫌いなく何でも食べるよ。ちよつとだけお酒を飲みながらね。それに、若い頃から、人の倍は体を動かしてきたことかな。朝早くから夜遅くまで畑に出て働いたね。93歳までリヤカー引いて、作った野菜を売って歩いたもんな。とにかく農業が大好きでな」と藏雄さん。

「子供や家のこと、おばあさん(妻)に任せっきりだった。それでも文句一つ言わずに、畑も手伝ってくれた。本当に、ようやくってくれた」と今は亡き奥さんへの思いが伝わってきます。

現在、家族は二世帯4人暮らしですが、孫8人、ひ孫は10人とか。みんな、おじいちゃんが大好きだ

そうです。

「昔はとても恐い存在でしたが、年とともにその優しさがわかってきました。今、親子の会話を楽しんでいきますよ。家族にとつて、お互いに思いやりや感謝の気持ちが大切ですね」と一緒に暮らす長男夫婦は話しています。

市内の老人保健施設に、年2回シヨートステイに行っているそうです。「若い人たちと話す元気になるな」と楽しそうに話す藏雄さん。

私たちのインタビュにも、「こうやって若い人たちと笑って話ができるなんて幸せ、幸せ」ととても喜んでくれました。

藏雄さんは、習字が得意で、年賀状は自筆だったそうです。今年、白寿のお祝いに書いたという書をみせていただきました。

## 我心在

## 耕

白寿藏雄

「土を愛し畑を耕して、一生を貫いた父が選んだ一文字です」

息子の勉さんは、私たちにその話してくれました。

# 99歳!

### 明治～大正～昭和～平成を生きる

## あきる野発・ひと

## 養

蚕業はなやかな頃、夫を支え一家を切り盛りしてきた湖上在住の鈴木ツギさん。明治35年、八王子生まれの99歳。

「あの頃はお蚕さんで忙しかったね。お蚕さんは、お蚕様(おこさま)だったから、桑もぎをしたり、地元や檜原、五日市方面から働きに来ていた作代さん(手伝人)80人位の台所を切り盛りしていた」とツギさん。

93歳で亡くなった夫の寛太郎さんは、若い衆を大事にする人だったそうです。養蚕の技術改良に励み、大正14年には収繭高千二百貫、繭作り日本一となり、黄綬褒賞を受賞。敷地内には、当時のままの大きな蚕室が残っています。

現在、家族は四世帯7人暮らし。ツギさんの若さの秘訣について、



鈴木ツギさん

孫嫁の利子さんは「牛乳と卵は毎日ですね。検査でも骨密度は十分、私の方が低いかも…(笑)。それに家の中の長い廊下を、ゆっくりと歩いていますね。今は私のカットですが、2年前位まで月2回は美容院に行っていました。洋服も好きな色や柄があって、いつも自分らしいおしゃれを楽しんでいますね」と話してくれました。

ツギさんは、毎日1時間ほどかけて新聞を読み、政治面や選挙などに関心があるとのこと。TVは歌番組に時代劇、スポーツが好き。「相撲と野球が好き。貴乃花はいいね。でも、武蔵丸や曙、外国の力士も優しい感じがいいね」とツギさん。「巨人が負けると自分の部屋に行ってしまうですよ」と利子さん。

今日も、紺地に白い小花柄のワンピース、透명한ストッキングと爽やかな装いで、「私が元気でいられるのは、家族や皆さんのおかげです」と微笑むツギさん。



あきる野市女性情報誌

明子さんは、パート仲間との親睦旅行に初めて参加します。さて、旅行の前日…ジェンダーを探してみてください。(答えはP8左下)



何で私だけが手伝わなきゃいけないの。クラブだってあるんだから。

ゆっくりしてくれればいよ家のことさえちゃんとやってくれば。それにマリもいるから。あさって帰りは何時頃?

明日のお昼のカレーは作ったし、それに他はレンジでチンすればいいし…。行くのよせばよかったかなー。やっぱり主婦の私がいないと。

マリ、家のことお願いね明日は朝早いから。

ごめんなさいねせっかくお休みなのに。

まったく、僕の休みの日に遊びに行かなくなっちゃった。

学校休みだろマリたのむよなー。

中学生 塾帰り

高校生

### 街角スポット7

#### 三匹獅子舞も男女共同参画?

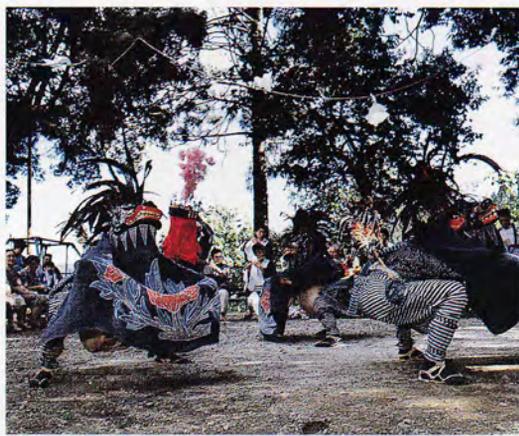
現在行われている獅子舞地区「五日市入野・山田・星竹・高尾・小宮・尾崎・瀬戸岡・引田・上代継」

獅子とは、鹿・猪・カモシカの総称で、現在のような獅子頭を使用するようになったのは、奈良時代以降ともいわれています。

獅子舞についてののはっきりした文献はないのですが、地域の人から人へと古式が受け継がれたようです。

獅子舞は、本来「悪魔払・豊作祈願・雨乞い」の神事舞踊で、主役は雄獅子二頭(大頭・小頭)雌獅子一頭で踊る、三匹獅子舞です。特に、雄獅子二頭が雌獅子を奪い合い荒れ狂う様は、勇壮で迫力があり、見ている者に感動を与えます。

獅子を囲むように花笠が立ち、唄い手に合わせ(各地区で唄言葉は違っていますが、内容は同じ)太鼓・笛・ササラが鳴り響きます。五穀豊穡を祈願して、各地の神社で奉納します。

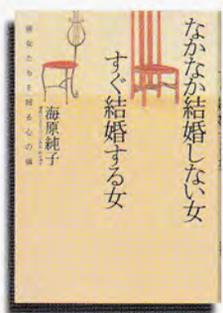


参考「五日市の郷土芸能」「獅子の風」他

昔は、獅子舞や「ササラすり」は、男性だけで行っていましたが、近年では女性たちも参加してきています。また、祭りの神輿を男女で担ぐなど、伝統やしきたりのある郷土芸能も、時代と共に男女共同参画が進んでいます。獅子舞は、各保存会により毎年9月に各地区で実施されています。



### 本



#### ◆なかなか結婚しない女 すぐ結婚する女

海原純子 著  
大和書房

結婚さえすれば幸せになれると考える女性たちや、結婚したいと思いつつも踏み切れない女性たちの深層心理にふれ、本当の自分の生き方を探求している。



#### ◆タマタマ女

里中満智子 著  
実業之日本社

自伝的エッセイ集。常識にとらわれない、独自のユニークな発想で、男と女を考える一冊。「タマタマ男にうまれた」「タマタマ女にうまれた」と考えれば、とっても素敵なこと 一本文引用一

※この本は、市内図書館で借られます。

### 「マイフズアージン」セミナー

平成の「おんな」の生き方  
「人生もつひと花咲かせる」  
24の法則

ここでそろそろ、もうひと花！  
という人のために。

日時 平成13年10月13日(土)

午後2時～4時

会場 あきる野ルピア

講師 長井和子(アイムパーソナルカレッジ代表)

定員 30名(申込み順)

費用 無料

### 男女共生セミナー

「男たちの明日」

「変わる自分とパートナーシップ」  
家庭内も構造改革、できることから始めてみませんか？

日時 平成13年10月20日(土)

午後2時～4時

会場 中央公民館

講師 山口正紀(読売新聞記者)

定員 30名(申込み順)

費用 無料

※各セミナー保育付

2歳から就学前までの幼児10名

申込み・問い合わせ

社会教育課女性係

TEL 558-1111 内 3016

### ワーキング セミナー 開かれる

### report



7月26日(木)市教育委員会主催のワーキングセミナー「女性のための就職支援講座」思ったときから可能性が始まる」があきる野ルピアで開かれた。  
講師は、(株)リクル

ートHUMAN AD編集長の渡邊嘉子さん。「子育て後は40年以上あり、就職・再就職ともに厳しい今、自分の生活に合った働き方で、まず一歩踏み出していくことが必要」また「雇用されない人生として起業を選択する場合は、経営者の視点」を持つために、興味ある仕事があったらパートタイム・派遣社員などに就いて経験を積むことが将来役立つ」と女性の多様な働き方についてアドバイスした。  
そして、「激しく経済が変化する社会では、どのような時にでも対応できる複数の能力を持つこと。常に新たな能力を拡大していくことが必要」と熱く語った。

### あきる野女性プラン推進のために

市では、男女共同参画社会の実現をめざし、あきる野女性プランを市民と行政のパートナーシップにより推進しています。

本年4月、あきる野女性プラン推進市民会議(会長:長谷川照代)は、プラン推進のための提言をまとめた報告書を市長に提出しました。また、庁内のあきる野市女性関係行政推進会議においては、策定後の計画事業の進捗状況を毎年調査し、施策の推進を図っています。

※報告書は、市役所及び市内の社会教育施設で閲覧できます。

### 編集後記

- ◆今回初めての参加。子育て中の今の生活にはない出会いと経験ありで、ドキドキでした。  
石山亜由美
- ◆明るい新庁舎でスタートした編集会議。黒一点? 新編集委員としての活動開始。  
大森 忠
- ◆取材を通して子育ては、地域・家庭でのコミュニケーションが大切と痛感。  
工藤洋子
- ◆家族の温かさが伝わってきたインタビューでした。今回も素敵な出会いに感謝。  
角野春美
- ◆知る事、気付く事なしに前には進めない。f-waveが、そのきっかけになればいいな。  
中山佳代子
- ◆映画取材楽しかった。第2弾、3弾やってみたくです。  
藤村美咲
- ◆年の取り方は人それぞれ。未来の自分を決めるのは、結局、今の自分なんですわ。  
三重野由美子

表紙/市川美加

この情報誌に関するご意見・ご感想、また、誌面で取り上げてほしいテーマなどを下記までお寄せ下さい。

ジェンダーチェックの答え

- ・家事は妻や女の子だけの仕事ではありません。夫も男の子も家事への参加が必要です。
- ・妻・母という役割意識に縛られすぎているのでは。

あきる野市女性情報誌は、市役所・公民館・図書館・生涯学習センター・ファインプラザなど、公共施設等に置いてあります。



エフ・ウェイブ

第7号 2001年10月発行

発行/あきる野市教育委員会社会教育部社会教育課  
〒197-0814 あきる野市二宮350  
Tel 042-558-1111 (内線3016) Fax 042-558-1560  
E-mail: josei@city.akiruno.tokyo.jp  
企画・編集/あきる野市女性情報誌編集委員会

